

平成30年度高知県小規模林業推進協議会通常総会及び第1回協議会議事録

○ 日 時 平成30年7月12日（木） 13時30分から15時30分

○ 場 所 かんぼの宿伊野

○ 出席者 61名

会 員：会 長 中嶋 健造

副会長 清岡 哲也、森本 和広、島岡 幹夫、 外26名

一 般： 3名

行 政：高知県林業振興・環境部 森づくり推進課長 櫻井 祥一 外27名

第一部 平成30年度通常総会

1 開会

2 会長挨拶

(中嶋会長)

どうも、こんにちは。猛暑の中、遠くから御苦労さまです。豪雨がありましたが、皆さんにおかれましては被災等ないでしょうか。最近では毎年こういう豪雨が起きてます。林業を持続的にやっていくには、毎年来る豪雨に耐え、予防治山になるような手法を展開していかないと、毎回崩壊を起こすようでは林業を持続できないと思いますので、今後、非常にこの点が重要になるかなと思ってます。

特に小規模林業で小さい山、余り多くない山で固定的にやってる人は、崩壊を起こすと全くできなくなる可能性もあるし、最近の崩壊は、下流に住んでる人に大影響を与え亡くなる人までおるわけです。

去年の九州北部豪雨の一般的な見解では、林業による崩壊はないなんて書かれてますが行ってみたら全く違います、ほとんどが林業災害です。4日間歩いて、皆伐箇所が四十数カ所あり100%崩壊してました。全然崩れがない皆伐地は1カ所もなく、全て崩壊を起こしていました。

今朝、NHKでどこかの崩壊を見ていたら、崩壊の起点になってるのは上にあった道でした。曲がったところでどんと落ちてましたが、多分、谷渡りのところで谷の水が道へ載ってきたんじゃないかなと思います。だから、きちっとした林業をやらないと大変なことを起こす可能性があります。

きちっとやれば、今度は災害を防いでいる現場もあります。徳島県那賀町の橋本さんの山は1時間に120mm降り、その後すぐ見に行きましたが、全然壊れていません。

実はまったく壊れてないわけじゃないです、土石流はちょろちょろ出てるんですけども、止めてるんです。谷渡し、洗い越し、洗い堰をこしらえて、これが1つの谷の一番多いところを調査したら8カ所ありました。砂防堰堤を連続させるのと一緒です。小さい土石流が出て、その1個、2個で止まる。だから全然、下に影響を与えない。予防できる、減災につながる林業もあるということ。小規模林業の人たちはそこを目指さんといきません。

今回、徳島の橋本さんや紀伊半島豪雨を耐えた岡さんたちに習ってる人たちに何人か電話したんですが、やっぱり全然大丈夫です。まだやり始めて間もないので、全面的に大きくカバーしてるわけではないと思いますが、やっぱり持続的に林業をやっていこうと思ったら、これをしないといけない。

福岡県朝倉市の豪雨の後、現場の林道へ行くと排水の間隔が定期的に来るんです。どうも単なる延長ピッチで排水をしてる。たまたま変なところに排水した所で、どんと大きい崩壊を起こしてる箇所が何カ所もありました。

林道の規程とか、谷渡りのところも全部ヒューム管を使って抜いて、そのままの勾配で上がってるんです。そうすると、ヒューム管が詰まると、完全にこの道上へ載ってきます。その道へ載った水が落ちたところが大崩壊を起こす。これはすさまじい箇所ありました。

だから、きちっとしたことをやっていかないと、本当にもしその下で人が亡くなったりしたら、もうできません。これは警告です、ちゃんとやりましょう。だから、そのための林業を皆に習ってほしいんです。

今、一部の人が習ってます。今回習った人たちは耐えてます、今回の豪雨も耐えてます。どうも見えてきました。ちゃんとした林業を下流部に影響を与えない林業、逆に抑える。豪雨が来ても抑えられるような林業を、レベルの高い林業にしていかななくてはなりません。

毎年豪雨が来る中、高知県は林業をやる人が増えていっていますので、その人たちのレベルが上げて、環境にも、経済的にもよいような林業へ一気に誘導していく必要があると思って、この豪雨を見てました。被災された方においては本当に大変だろうとは思いますが、これからやろうという方は、そこの部分もちゃんと頭の中に置いて展開できるよう

にしてください。

そういうことを指導、指導言ったら偉そうですけど、皆さんに情報提供しながら一緒にレベルを上げていく林業に向かっていきたいなど。そのための組織にしていきたいと思いますので、今回は豪雨の話をえらいしてしまって申しわけないですが、よろしくお願ひしたいと思います。どうもありがとうございます。

3 議長選出

高知県小規模林業推進協議会活動規約第13条第3項の規定に基づき、中嶋健造会長が議長に選出された。

4 議事

第1号議案 平成29年度事業報告について

事務局からの説明の後、質疑応答が行われ、原案どおり可決された。

第2号議案 平成30年度事業計画について

事務局からの説明の後、質疑応答が行われ、原案どおり可決された。

5 閉会

第二部 平成30年度第1回高知県小規模林業推進協議会

6 講演

「スズメバチ忌避剤の開発取組について」

7 県からの情報提供

平成30年度支援事業について（高知県林業振興・環境部 予算概要）

活動内容アンケートの実施について

(出席者)

お聞きしたいのは、小規模林業推進事業費の林地集約化支援事業は、補助事業者が市町村で、昨年度の実績では佐川町だけということですが、これは数人でそういう林業グループみたいなものをつくった場合も補助は受けられるんですか。

(事務局)

事業実施主体としましては、市町村、NPO法人、それから市町村の長が補助することが必要であると認める団体で、市町村がオーケーという団体でしたらOKです。平成28年度につきましては、いの町が地域内の団体に支援してる実績があります。

(出席者)

では、任意団体でも構いませんか。

(事務局)

はい。いの町で実施した実績は任意団体でした。

(出席者)

それから、相談するのは市町村の林業課ですか。

(事務局)

そうですね。実際に市町村の予算化が必要になりますので、まずは市町村に御相談いただけたらと思います。

(出席者)

関連してお聞きしたいんですけど。

バイオマス材を出しておりまして、最近チップ加工会社さんに出してるんですが、チップ会社さんに聞くと、最近は枝条の出荷が非常に多いみたいですけど、原木が出てくる量が少ないんですか。そういう話はお聞きになったことないですか。

(事務局)

あんまり細かい話は承知しておりませんので、概略で御説明したいと思います。県内には5,000キロワット規模のバイオマス発電所が2カ所、高知市と宿毛市にありまして、それぞれが全て原木で材料、原料を調達しているかというところではなくて、高知市の発電所の場合は全て、間伐材等の由来からくる原木を材料にしています。一部枝条等が入っております。

西の宿毛市にある発電所は、製材所から出てくる端材、製材後の端材も中に入れてお

りますし、枝条等も大分使われてるように聞いております。ここは全て原木で調達して
るわけではなくて、その部分ではまだ原木の受け入れる可能性は非常に大きいところ
はあると思いますけれども、枝条も必要な原料の中の一部として使っていると聞いており
ます。

(出席者)

枝条のほうが単価は高いとか、そういう話ではないですか。

(事務局)

材料自体が持つカロリーというか、燃やしてどれぐらいのカロリーが発生、使えるか
となると、枝条のほう率が率としては低くなりますので、単価的には多分安い単価設定が
されてると思います。

(出席者)

今、後段のお話を聞いていて、かなりいろいろな補助とかサポートが手厚いと思いま
すけど、実際、小規模林業推進協議会のホームページには、リンクか何かで反映されたり
はしないですか。

(事務局)

小規模林業推進協議会のホームページに支援制度という項目がありますが、まだこの
記事の掲載内容が十分ではないと思うので、今年度、内容を充実させて掲載するよう
にしたいと思います。

(出席者)

機械を借るときに、適当な機械というか、もし仮にそれが部落でしたら1台というよ
うに、業者さんが持ってないところはかなり多いので、県のほうで、ここで借ったらえ
えですよ、機械もそろっていますよという情報はないですか。

(事務局)

木材増産推進課でも、補助単価を決める際に、そういう関係のリース会社からも情報
はとっておりますけれども、小さいところまで全てカバーできておりませんので、そこ
はまだ十分な情報を持ち合わせてないかもしれませんが、やはり計画として、例えば来
年度の予算に反映をしてもらうように要望を上げてもらって、こういう機械が借りたい
ということで、当然、地元でまずお探しになると思いますけど、それができないときには
高知市にあるような大手のリース会社とかで、あるかないかを確認する、そういう手
順は御説明というか御案内できると思いますので、また要望を出したいときに木材増産

推進課に御相談していただければ、御相談に乗らせてもらいたいと思いますので、どうかよろしくをお願いします。

7 閉会

他にないようでしたら、これで平成30年度事業につきましての支援事業の説明を終わらせていただきたいと思います。

以上をもちまして、本日の全ての議事は終了いたしました。

次回の協議会につきましては、大体例年どおり10月ごろを予定しておりますが、いつも2回目は現地検討を兼ねてやっておりますが、その予定で実施したいと思いますので、また詳細決まりましたら御案内をさせていただきたいと思います。

それでは、本日はお忙しいところを御出席いただきまして、ありがとうございました。お忘れ物のないようにお帰りいただきたいと思います。どうもありがとうございました。